

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010100

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	3	母子保健・女性の健康支援の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	女性の健康づくり支援事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	女性の健康診査受診率		関係課	#N/A		
事業目標	50%		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	有	主体的な健康づくりへの取組	関係例規・法令名	有 健康増進法、母子保健法		
住民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	思春期から青年期、更年期のライフサイクルに応じて妊娠・出産等の大きな健康課題を抱える女性が、生涯を通じて健康で充実した生活を送ることを支援することを目的に、健康相談・健康診査費用の助成を実施する。	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費の助成	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費の助成	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費の助成	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費の助成	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費の助成
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 1,100 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,100	220	220	220	220
実 績 事 業 費	事業費(千円) 320 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 320	171	149	0	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称  【評価・実績】	(実施内容等) ・子育て講話等専門相談 8回 222名 ・個別相談、訪問 2件 ・一般健診無料クーポン券利用数 3名(利用率20%)  ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・子育て講話等専門相談 9回 233名 ・個別相談、訪問 2件 ・一般健診無料クーポン券利用数 6名(利用率15%)  ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	50%	50%	50%	50%
		年度達成率	78%	68%	0%	0%
	第6期計画への継続(継続有り)	全体達成率	16%	29%	29%	29%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆		

事業名	女性の健康づくり支援事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者	作成者 職氏名	保健係	河原真由美

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	主に思春期から更年期にかかる女性	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	一般健診無料クーポン券利用率	
【抱える課題やニーズは】	妊娠、出産など大きな健康課題を抱えるとともに、思春期、更年期などのライフステージにおける健康課題が出現する可能性が高い	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ライフステージに応じた健康課題に適切に対応し健康的で充実した生活を送ることができる	① 一般健診無料クーポン券利用率	目標年度	平成26年度
			目標値	50%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	ライフステージに応じた健康課題を解決することができる	② 子育て講話参加者数(前年比)	実績値	15%
			達成度	30.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	一般健診受診費用助成	女性の厄年(33歳)、年女(36歳)の方に対し一般健診受診の無料クーポン券送付を行った		
	女性の健康づくりに資する事業の実施	子育て講話、家庭訪問等個別支援を実施し、子育てや女性の健康づくりに資する知識や意識の啓発を行った		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	女性は特にライフステージに合わせた心身変化が起こる特徴があることから、それらの特徴に合わせた健康課題に即した支援が必要である
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	一般健診受診券の利用率は低率で経過しているが、他事業で女性の健康づくりへの支援はできた。受診率向上にむけた取組が必要である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診時に無料クーポンが利用できるような対応にする等効率性がある。また、子育て講話については子育て支援センター等関係機関との連携によりスタッフ配置や周知等の分散化ができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	事業の実施にあたり、個別通知、広報、町ホームページで周知し公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>B</b>	
	クーポン利用率が向上していない現状がある。周知方法も含め事業内容の精査を行う必要がある。子育て講話は概ね目標達成できた。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/現状維持</b>	
	無料クーポン利用率向上に向けた周知や工夫を行う。また、子育て講話や家庭訪問で生涯にわたる健康づくりの支援としていきたい。	

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止